

局から。

就活にしても、景品獲得にしても合格不合格、あたりはずれがあるので仕方がないので。今回はダメだったとしても、次回は行ってもらえるようにバランスを確認して進めていくので、アドバイザーも講師も行けるときにはぜひ積極的に手を挙げてほしい。

○講師選びを先着順で決めることについて

事務局からは、希望者の一覧をアドバイザーに共有して講師選びを進めている。その際、先着順位やどんなプランを考えているか、今年に入ってからを担当件数をお伝えしている。その中から学校の要望に合った講師をアドバイザーの意見をもとに決定している。ただし、新しい登録講師などの情報提供は事務局からすることで、最終的に一緒に講師選びができるように、進めていきたいと考えている。

そのようなわけで、基本的には先着順で決めているが、ただそれだけで決めてしまうのではなく、さまざまなバランスを見て最終決定していくことが大切だと感じている。

○学校との打ち合わせのタイミングについて

講師を選ぶのは、学校との打ち合わせの後なのか先なのか？

現在までの依頼では、授業形式も要望もはっきりしているケースについては、アドバイザーが学校と打合せをする前に、講師募集をする場合もあった。

基本的には、アドバイザーが決まったら学校との打ち合わせをしてもらい、詳細内容をすり合わせた上で講師の募集をした方がいいと考えている。

(2)【初めての講師へのアドバイス】

昨年度の授業の様子。小学校・中学校・高校の写真を共有してイメージを持ってもらう。

◆ベテラン講師から

○子どもたちと触れ合えることがとても楽しみ。子どもたちとのやり取りでパワーをもらって帰ってくる。専門家ではないから自分らしく、自分の国のことを伝えることが大切だと思っている。学校の内容に合わせてお話することが必要。

○年齢によってお話の内容が変わってくると思う。小学校では楽しいこと。一緒に遊ぶ感じ。その中でも、国のことは伝える。中学生は少しお兄さんお姉さんになるので自分の国についてももう少し具体的なことを伝えている。その中で一方的にならないようにゲームなどのアクティビティを入れながら、子どもたちに近い環境で自分がどう感じていたのかを話すようにしている。高校だともっとテーマが決まっていることが多い。そのテーマの中で国のことを自分の体験の中から考えて話をしている。共通して、相手の顔を見て、アクティビティを入れながら授業をするようにしている。

○アドバイザーは誰でも安心していい。今までの講師の人とも楽しく一緒に行ってきたけど、新しい人もこれからはミックスしていけたら、知り合えるからいいと思う。

◆アドバイザーから

○まだ活動経験が少ないので講師の情報は事務局から提供してもらいながら講師選びをした。学校との打ち合わせをして、要望のすり合わせをしてそれを講師に伝えた。講師との打ち合わせはZOOMを使った。講師がどんなことをするかなどを踏まえて、授業をする環境（机の位置や準備するものなど）の確認をすることを主に事前に行った。

○アドバイザーは講師の授業する環境を整える係だと思っている。特に新しい講師の方とは連絡を取ってどんな事を伝えたいか、どんな楽しいことができるか、ということをして

確認してすり合わせをして、当日も教室に入ってサポートをしているので、一人で授業をするわけではないので安心してもらいたい。また学校の要望とすり合わせをして講師ができることもどんどん学校に伝えてよりよい方法を提案するようにしている。協会と学校と講師の皆さんの間の連絡係だし、環境整備係であることを意識している。